



ミニクイックコネクター

MQC

取扱説明書

サーパス工業株式会社





安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。


警告表示のみかた


この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、**危険・警告・注意**等の表示を使用しています。その表示の意味は次のとおりです。これらの内容をよく理解して、本文をお読みください。

特に**危険**の表示で指示した内容は、十分に理解して必ず守ってください。


 危険	<p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。</p>
 警告	<p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 注意	<p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
	<p>重要な注意事項、製品を正しく動作させるための注意事項などを記載します。</p>

設置について

 危険	必ず守ってください!!
<p>危険な薬液、溶剤等に使用する場合は、必ず、全身を防護する耐薬品性の保護具（保護手袋と保護面と保護服）を着用してください。液体の噴出があった場合、身体に障害を負う危険があります。</p>	

 警告
<p>コネクター後端から出ているチューブを回転させたり、または引っ張るなど故意に行いますと薬液が漏れ、身体に障害を負う可能性があります。 誤った手順や方法で接続を行うと、液漏れが発生し、身体に障害を負う可能性があります。</p>

取扱いについて

 警告
<p>プラグおよびソケットの接合部分（シール部分）にキズをつけないよう注意してください。キズがつくと液漏れの原因となり、身体に障害を負う可能性があります。 本製品は樹脂製品のため、硬いものと接触させないようにしてください。本体が破損し、液漏れの原因となり、身体に障害を負う可能性があります。</p>

使用方法について

⚠ 危険 必ず守ってください!!

コネクタの接続・分離は、配管内を無加圧状態にしてから行ってください。加圧されていると薬液が飛び散り、身体に障害を負う危険があります。

コネクタの接続・分離を行うときは、必ず全身を防護する保護具（保護手袋と保護面と保護服）を着用してください。薬液が身体に付着し、障害を負う危険があります。

コネクタの接続・分離はゴミの無いクリーンな場所で行ってください。ゴミの付着によりシール性が低下し、液漏れの原因となり、身体に障害を負う危険があります。

コネクタの接続・分離を行うときは、必ず、真っ直ぐに接続・分離を行ってください。傾いていると薬液が飛び散り、身体に障害を負う危険があります。

本製品はロータリージョイントではありませんので、回転を与えるような使用は避けてください。シール性が下し、液漏れの原因となり、身体に障害を負う危険があります。

コネクタ接続の際は、完全に接続されていることを確認の上、ご使用ください。薬液が飛び散り、身体に障害を負う危険があります。

仕様圧力範囲を超えてご使用されますと、接続状態が保てないので必ず仕様圧力範囲内でご使用ください。



- ・ 本体接続部がPTめねじの場合には、管用テーパねじとなります。おねじには必ず、テーパおねじを使用してください。
- ・ 本体接続部がPTめねじの場合には相手側のPTおねじは金属類の硬い材質のものは避け、PTFE、PCTFE、PFA、PE、PP製のものを使用してください。
- ・ 本体接続部がPTめねじの場合には、必ずおねじ側にPTFE製シールテープを3～4周巻き付けて締め付けてください。
- ・ ソケット、プラグを接続する際にはOリングの破損を防止するため、摺動抵抗（挿入荷重）を減らす目的としてソケットのOリング（内周部）またはプラグのOリング摺動部（シール部）に使用流体、また純水を塗布してご使用ください。
- ・ 研磨剤、または凝固しやすい液体は正常な機能を妨げますので使用しないでください。

保守・点検について

⚠ 注意

当社以外でOリングの交換および解体を実施した製品についての故障、液漏れ等に関する責任は負いかねますので、ご了承ください。

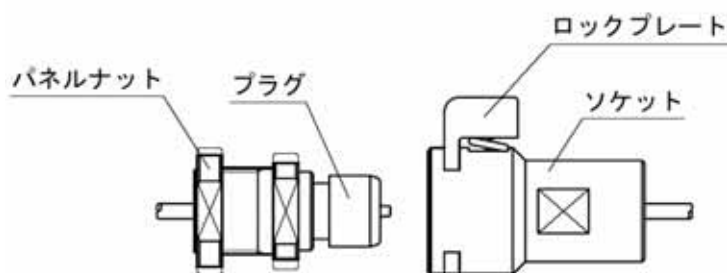
メンテナンスを実施する場合は、当社へ依頼してください。

1. 仕様

使用流体圧力	: 0 ~ 200 kPa
耐 圧	: 250 kPa (モーメント無きこと)
使用流体温度範囲	: 5 ~ 50
使用環境温度範囲	: 5 ~ 50
接液部材質	: PTFE、PFA、Oリング (材質により異なる)
接続タイプ	: チューブ出し、またはPTねじ

2. 各部の名称

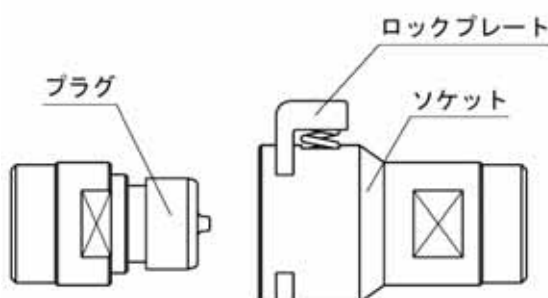
・チューブタイプの場合



チューブ径 (標準品)

[MQC-W□L-1S-3	: $\phi 3 \times \phi 2$
[MQC-WL-1P-3	: $\phi 3 \times \phi 2$
[MQC-W□L-1S-1/4	: $\phi 6.35 \times \phi 3.96$
[MQC-WL-1P-1/4	: $\phi 6.35 \times \phi 3.96$
[MQC-W□L-2S-3/8	: $\phi 9.53 \times \phi 6.35$
[MQC-WL-2P-3/8	: $\phi 9.53 \times \phi 6.35$

・PTねじタイプの場合

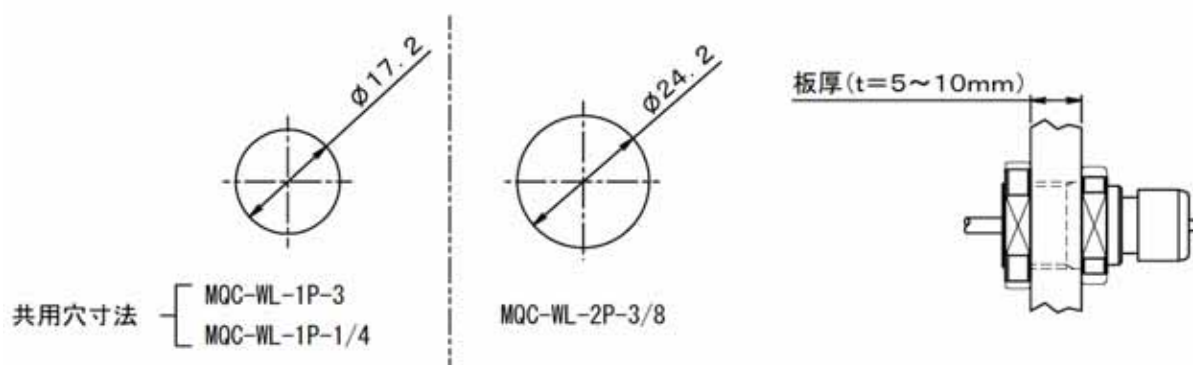


PTネジサイズ (標準品)

[MQC-W□L-1S-PT1/4	: PT1/4
[MQC-WL-1P-PT1/4	: PT1/4
[MQC-W□L-2S-PT3/8	: PT3/8
[MQC-WL-2P-PT3/8	: PT3/8

3. パネルマウントご使用にあたって (チューブタイプのみ)

パネルカット寸法



このときマウントの板厚が10mmを超えますと、正しく設置できませんので注意してください。

4 . テーパねじへの接続について (P Tねじタイプのみ)

コネクターのめねじに適合した相手側継手 (おねじ) に、 P T F E シールテープを 3 ~ 4 周巻き付けてから締め付けてください。

⚠ 警告

おねじを接続する際は、本コネクターのめねじが N P T であるか P T であるかを確認したうえで、正しいおねじを接続してください。誤ったおねじを接続すると、液漏れが発生し、身体に障害を負う可能性があります。
テーパねじは、正しい使用方法と手順で接続してください。誤った使用方法や、手順で接続を行うと、液漏れが発生し、身体に障害を負う可能性があります。



- ・配管用めねじは、管用テーパねじです。おねじには必ず、テーパおねじを使用してください。
- ・おねじには、金属類の硬い材質のものは避け、 P T F E、P C T F E、P F A、P E、P P 製のものを使用してください。
- ・おねじには、必ず P T F E 製シールテープを 3 ~ 4 周巻き付けて締め付けてください。

5 . ご使用方法

5 - 1 . 接続手順

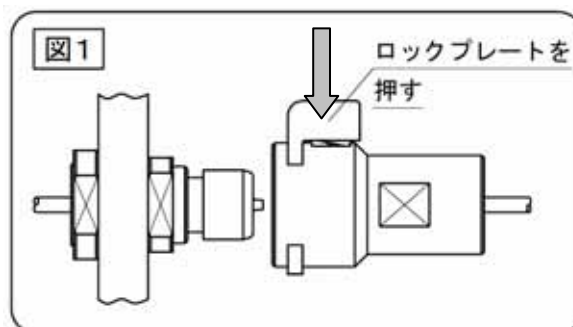
⚠ 危険 必ず守ってください!!

コネクターの接続は、配管内を無加圧状態にしてから行ってください。加圧されていると薬液が飛び散り、身体に障害を負う危険があります。
曲げ応力・引っ張り応力などの負荷がかかる接続は行わないでください。

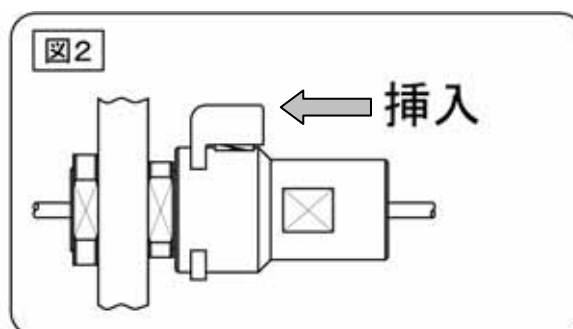


ソケット、プラグを接続する際には O リングの破損を防止するため、摺動抵抗 (挿入荷重) を減らす目的としてソケットの O リング (内周部) またはプラグの O リング摺動部 (シール部) に使用流体、また純水を塗布してご使用ください。

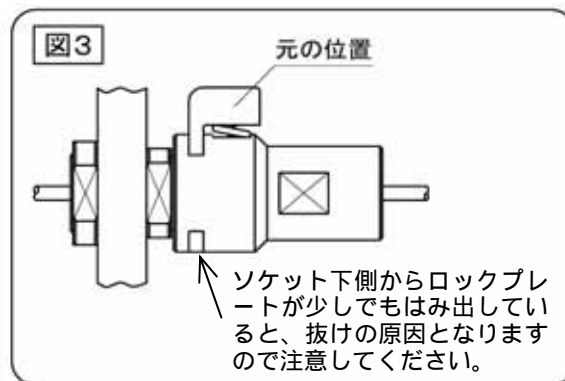
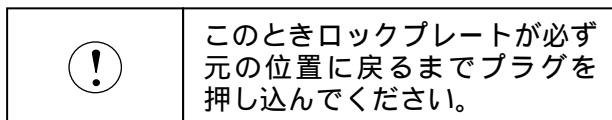
ソケットのロックプレートを押下げて下さい。(図 1 参照)



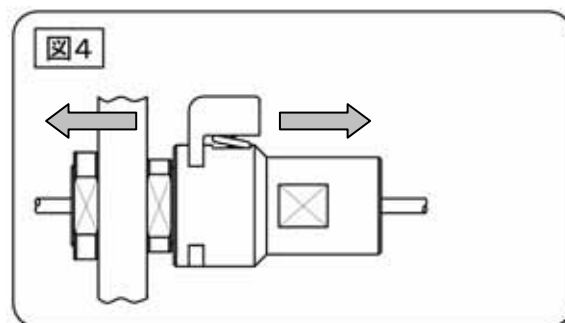
ソケットのロックプレートを押したままソケットの先端がプラグにあたるまで挿入してください。(図 2 参照)



ロックプレートから手を放し
しっかり元の位置まで戻って
いる事を確認してください。
(図3参照)



矢印方向に引っ張った時に、
プラグとソケットが分離しない
ことを確認してください。
(プラグをパネルマウントされて
いる場合はソケットのみ
引っ張って確認してください。)
(図4参照)

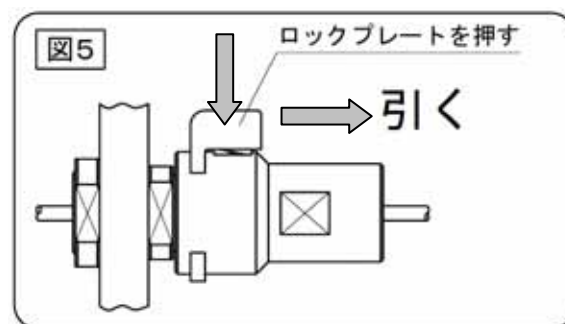


5 - 2 . 分離手順

危険 必ず守ってください!!

コネクタの分離は、配管内を無加圧状態にしてから行ってください。加圧されていると薬液が飛び散り、身体に障害を負う危険があります。曲げ応力・引っ張り応力などの負荷がかかる分離は行わないでください。

ロックプレートを押しながら
プラグからソケットを引き抜いて
ください。(図5参照)



6 . 日常点検

作業開始時および作業終了時に下記の項目を点検してください。異常があった場合は、都度、処置してください。

- 粉塵、ほこり、汚れの付着
- 配管、継手部からの液漏れ

7. 保証について

サーパス工業（株）製品は、サーパス工業（株）より納入された日から一年間、性能及び材質の欠陥に対して、欠陥原因がサーパス工業（株）の設計、製造上の原因であるとサーパス工業（株）が文書で承認した場合、代替品による同製品を保証します。この保証は、製品が誤った方法で使用されたり、改造されたり、本取扱説明書に記載された取り扱いに一致しない方法、ならびにサーパス工業（株）の勧告や指示に従わないで使用された場合を除きます。

サーパス工業（株）製品を単独あるいは他の製品と組み合わせて使用した場合で、製品の仕様条件を超えた状況で使用されたことによる、直接または間接に起こる損失や損傷、個人の怪我、その他を含め、結果として起きる損害に関して損害賠償の責を一切負いません。サーパス工業（株）の保証に基づく補償は製品の交換に限定されます。

次に示す状況で生じたものは有償となります。

取扱説明書に記載した内容以外の使用によって生じた故障および損傷。

使用上の不注意による故障および損傷。

分解、改造、および不適当な調整、修理による故障および損傷。

天災、火災、その他不可抗力による故障および損傷。

消耗品および付属品の交換。

The logo for SURPASS, featuring the word "SURPASS" in a bold, blue, sans-serif font. The letter "S" is stylized with a red dot above it.

サーパス工業株式会社

〒361-0037 埼玉県行田市下忍 2203

TEL : 048(554)9760 FAX : 048(554)9906

URL : <http://www.surpassindustry.co.jp>

© 2007-2009 Surpass Industry Co.,Ltd. All rights reserved.